

総務省の「デジタル活用支援推進事業」に採択

みんなで取り組む デジタル化!



行政手続きのオンライン化など、社会全体のデジタル化が進められる中、デジタル技術を使いこなせる人と、そうでない人の「デジタル格差」の解消が重要な課題となっています。市では、地域の実情を踏まえつつ、助けを必要とする人に十分な支援が行き渡るよう、取り組みを進めています。

◎問い合わせ

デジタル統括課 ☎23-2156

官民連携の取り組みを構築

令和2年度に、システム会社や高等教育機関、携帯電話販売代理店の運営会社など、市内の産学官の連携による「都城デジタル化推進協議会」を設立しました。

本協議会の枠組みにより、市民の皆さんを対象に、総務省実証事業に採択されたスマートフォンアプリの活用、最新デジタル技術の紹介などを講座や実践形式で全3回実施しました。



市民目線でデジタル化を推進

令和3年度は「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現に向け、取り組みを加速化。

総務省の「デジタル活用支援推進事業」で携帯事業者などが全国で実施する「全国展開型」と、市と地元企業や団体などが連携して取り



組む「地域連携型」の公募が行われ、本市と連携したシフトプラス株式会社が応募し、採択されました。スマートフォン活用やキャッシュレス決済に関する講座形式での相談会のほか、高齢者などが普段抱えているデジタル技術の活用に関する「よろず相談会」などを実施する予定です。

●実施時期

高齢者の新型コロナワクチン接種完了後の実施を予定しています。時期や場所など詳しくは、市ホームページや広報都城などで随時、お知らせします。



インタビュー



令和2年度講習会参加

中元 美智子さん
(山之口町富吉)



80代の母親にスマホの操作を教えたいと思い、市の講習会に参加しました。講習会では、LINEをはじめとしたアプリの使い方や、スマートスピーカーなどAI機能を持つ機器の紹介があり、デジタル技術の進化を感じることができました。講習会後は母親とのやり取りとともに、小学生の孫ともアプリで頻りに連絡を取り合うなどスマホの操作も慣れてきました。

スマホを持っていても使いこなせていない人は数多くいると思います。市の講習会は分かりやすく教えてくれるので、電話機能以外のさまざまなアプリを使い始めるきっかけになります。迷っている人がいたら、気軽に参加して欲しいです。